

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人カトリック児童福祉会  
金ヶ瀬カトリック保育園

## R4年度 金ヶ瀬カトリック保育園事業報告

キリスト教の愛の精神に基づき、心身の育成を図ることを大切にしながら、厚生労働省の定める保育指針により実施する。

十分にゆきとどいた環境のもとに、くつろいだ雰囲気の中でこどもの様々な欲求を満ちし、生命の保持並びに情緒の安定を図る。

定員 60 名 現員 71 名 (令和 5 年 3 月 31 日現在) (延べ人数 862 名)

開園時間 7 時 15 分 閉園時間 18 時 45 分

就学時前迄の子どもたちが、11 時間以上も生活する場で有ることから、家庭的な雰囲気の中でゆったり・楽しく・安心して過ごせる様に、クラスは 0.1.2 歳児、3.4.5 歳児の縦割り編成にすると共に、担任もゆとりを持った複数担任制を取り入れています。又、職員の構成も保護者が安心して預けられるように、ベテラン保育士・子育て経験者・介護経験者等を多く配置しております。

今年は 0 歳児 6 名 (6 ヶ月児～) 1・2 歳児 4 名 3 歳児 2 名の新入児を受入れました。

保育は今年度も縦割り活動・同年齢活動・掃除や奉仕活動・菜園活動・陶芸・お作法・クラブ活動・日本古来の伝統活動を多く取り入れながら、あそびの中に創造性やものを感じる心、感謝の心が育ってほしいと願って計画しましたが、コロナウイルス感染拡大防止を配慮して地域との交流事業が思うように出来ませんでした。心の育ちの面では、「あいさつ・ありがとう・あたえあう・あやまりあう心を使い、優しい心と感謝の心をもちましよう」を職員も子どもも皆で大切にしました。6 月・12 月・3 月は祈りの月として心を一つにして争いや危険のない平和と安全を祈りました。特に戦争の無い平和な生活の大切さや喜びを考えました。

○今年度も自然の恵みの中で伸び伸びと遊ぶ事を多く取入れた保育を意識して、砂遊びや草原・園外散策等を沢山行いました。チャリティー夕涼み会・運動会の行事は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から保護者のみの参加で行いました。クリスマス祝会はコロナの感染者が増え日程を変更することも考えましたが、感染拡大が止まらず中止という決断を致しました。卒園式では、アトラクションとして聖誕劇と聖歌の披露を行い保護者の皆様から大変喜ばれました。今年も一円募金やクリスマス献金を行いカリタスジャパンや大河原町社会福祉協議会に送金しました。又、古切手や葉書募金も通年を通して行い関係施設に 4 回送りました。

○今年度の年長児小学校招待は 2 年ぶりに行われ、学校生活の様子や教室の雰囲気を味わい 1 年生との交流を深めてきました。又、児童クラブ交流会を多く持ち、学校生活への期待が膨らむ工夫を行いました。園内に児童クラブがある事は年長児にとってよい環境だと思います。

○健康面では毎日外に出て歩く活動を多く取入たり、裸足・薄着保育を実施している事で体力増進に繋がりました。うがい・手洗いの励行に務めた事で風邪やインフルエンザその他の感染症罹患者が減少しましたが、コロナウイルス感染症は、4 月・8 月・12 月に感染が拡大したので学級閉鎖を実施して感染拡大を抑えました。

○施設整備面では、コロナ対策補助金を活用して室内クリーニング(天井・天窓等)を業者にしてもらいました。又、給食室の排水が詰まりパイプクリーニングを行ったり、給食室や各保育室の水道の蛇口の不具合を直してもらった等の工事も行いました。

令和 4 年 2 月の地震でホール入口の大きな吊戸が倒れたので、安全対策として転倒防止工事をしました。

令和 5 年 4 月 1 日  
金ヶ瀬カトリック保育園